

視察を終えて

教育と子育てのパラダイムシフト

委員長品田ひでこ

「広島県教育支援センターSCHOOL“S”」では、「学校へ戻す」を目標にしてきた不登校対策が、まずは生徒たちの興味、関心を持っていることへ刺激を与え、というアプローチから始める戦略を立て、一人ひとりの居場所をつくり、社会へ繋げようと試みています。その実践的取組みに共感し大いに学びさせていただきました。生徒の実態に応じた「選択肢」と「自己決定」を意識した教育活動は、正に「個別最適な学び」を担保されるものでしょう。

「ひろしま子供応援プラン」は、全ての子育て家庭を「全数把握」し、「予防的支援」に繋げていく取組みで、「ひろしま版ネウボラ」によってプランの拡充を図っています。広島県と広島市やモデルの府中町などの事業連携で、AIを活用したハイリスク家庭の割り出し、ピンポイントで子供や家庭に支援の手を差し伸べようとしています。個人情報収集という大きな壁に阻まれるものの、子供たちの情報を一括管理し共有して支援が手遅れにならないように活用していく今までにはない取組みです。全県展開ができるように先行して進めていただければ、成果が期待でき、文京区も後追いでできる可能性があります。

今回は、これまでの「不登校問題」へのアプローチ、また「子育ての孤立」、
「児童虐待」の防止にも妊娠期からの切れ目のない支援をAIの活用によって育つ環境から見守っていくという今までにはないプランが推進されていること、
「教育と子育てのパラダイムシフト」を実感した視察でした。大いに文京区の教育や子育ての参考にさせて頂きたいです。